

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成30年10月4日(2018.10.4)

【公開番号】特開2017-81369(P2017-81369A)

【公開日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2015-210851(P2015-210851)

【国際特許分類】

B 6 1 B 1/02 (2006.01)

E 0 6 B 11/02 (2006.01)

E 0 6 B 3/72 (2006.01)

【F I】

B 6 1 B 1/02

E 0 6 B 11/02 R

E 0 6 B 3/72

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月21日(2018.8.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

上記目的を達成するために、本発明に係る可動式ホーム柵は、戸袋と、戸袋に進退自在に支持された扉体とを備える可動式ホーム柵であって、扉体に、フレームと、支持枠と、透明部材と、戸先ゴムを備えるものである。フレームは、戸先側の端面に開口する第 1 の挿入口を備え、透明部材は、支持枠に嵌合して保持されて、支持枠と共に戸先側から第 1 の挿入口に挿入されて、フレームの内部に取り付けられる。そして、戸先ゴムは、一部が第 1 の挿入口に挿入されて、扉体の戸先側の端部に取り付けられている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

戸袋と、前記戸袋に進退自在に支持された扉体とを備える可動式ホーム柵であって、前記扉体は、フレームと、支持枠と、透明部材と、戸先ゴムを備え、前記フレームは、戸先側の端面に開口する第 1 の挿入口を備え、前記透明部材は、前記支持枠に嵌合して保持されて、前記支持枠と共に戸先側から前記第 1 の挿入口に挿入されて、前記フレームの内部に取り付けられ、前記戸先ゴムは、一部が前記第 1 の挿入口に挿入されて、前記扉体の戸先側の端部に取り付けられている
可動式ホーム柵。

【請求項 2】

前記支持枠は、前記フレームと前記戸先ゴムの間で挟持されて、前記フレームに固定されている

請求項 1 に記載の可動式ホーム柵。

【請求項 3】

前記支持枠は、戸先側の端面に開口する第 2 の挿入口を備え、

前記透明部材は、戸先側から前記第 2 の挿入口に挿入されて前記支持枠に取り付けられる

請求項 1 又は請求項 2 に記載の可動式ホーム柵。

【請求項 4】

戸袋と、前記戸袋に進退自在に支持された扉体とを備える可動式ホーム柵であって、

前記扉体は、フレームと、支持枠と、透明部材と、戸先ゴムを備え、

前記フレームは、戸先側の端面に開口する第 1 の挿入口を備え、

前記支持枠は、戸先側の端面に開口する第 2 の挿入口を備え、

前記透明部材は、戸先側から前記第 2 の挿入口に挿入されて前記支持枠に取り付けられて、前記支持枠と共に戸先側から前記第 1 の挿入口に挿入されて前記フレームの内部に取り付けられ、

前記戸先ゴムは、一部が前記第 1 の挿入口に挿入されて、前記扉体の戸先側の端部に取り付けられている

可動式ホーム柵。

【請求項 5】

戸袋と、前記戸袋に進退自在に支持された扉体とを備える可動式ホーム柵であって、

前記扉体は、フレームと、透明部材と、戸先ゴムを備え、

前記フレームは、戸先側の端面に開口する第 1 の挿入口を備え、

前記透明部材は、戸先側から前記第 1 の挿入口に挿入されて前記フレームの内部に直接取り付けられ、

前記戸先ゴムは、一部が前記第 1 の挿入口に挿入されて、前記扉体の戸先側の端部に取り付けられている

可動式ホーム柵。

【請求項 6】

前記第 1 の挿入口から前記戸先ゴムを引き抜いて、前記第 1 の挿入口を開放するステップと、

前記第 1 の挿入口を通して前記フレームから古い透明部材を引き出すステップと、

前記第 1 の挿入口を通して前記フレームに新しい透明部材を挿入するステップと、

前記第 1 の挿入口に前記戸先ゴムを取り付けるステップと、

を含む請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項に記載の可動式ホーム柵の透明部材交換方法。